

土壤医の会全国協議会の平成 30 年度事業計画

平成 30 年 6 月

1.事業計画

(1)土壤医の会を巡る状況

土壤医の会全国協議会(以下「全国協議会」)が昨年 3 月に結成され、この一年の間に地域土壤医の会が 6 組織結成されるなど活動は広がりを見せている。

しかし、地域土壤医の会の組織化に関しては、土壤医の会のない空白地域がまだ多いことや、正会員数が少ないなど組織化が遅れている。このため、今後、特に地域土壤医の会の組織化の促進を通じ資格登録者の研鑽機会の拡大や情報交流の拡大を一層推進していく必要がある。また、一方研鑽機会に恵まれない会員も多く、全国協議会においても研鑽機会の拡大を図っていく必要がある。

土づくりの普及に関しては、最近、農業高校生、農業大学校生、大学生といった若年層の受験申込者数が増えてきているとともに、農業者や農業生産法人についても増加してきている。この要因としては、地域土壤医の会の受験対策研修会の開催や準会場の設置増加とともに、在学生以外が受験可能な準会場の設置拡大が大きく寄与していると考えられる。こうしたことから、今後、こうした取り組みを拡大していく必要がある。

資格登録者の活用については、農林水産省 HP の専門家リストへの掲載など一定の前進があったが、現状において活用が十分なされているとは言いにくい。

このため、協会ウェブサイトの活用によるプロフィール紹介等とともに、一層土づくりの成果を PR しつつ、資格登録者の社会的評価を高め活用促進を図っていく必要がある。

(2)活動方針

これまで述べてきたような土壤医の会を巡る課題を踏まえて、今年度は次の項目に重点を置いて推進することとする。

1)地域土壤医の会を中心に組織化を進めるとともに、活動を活発化し正会員数を増やす。

地域土壤医の会については、特に空白地域を中心に組織化を進めていく必要がある。このため、組織化の核となる方を見出し、その方を中心に組織化がなされるよう支援していく。また、組織化がなされた後は、正会員数が増えるよう活動を活発化していくことが重要である。このため、実践的な研修会や人的交流が深まる場を設けるなど参加者にとってメリットの多い活動を行っていく必要がある。

なお、活動の推進に当たっては、本年 3 月に改正された「土壤医資格登録と継続研鑽要綱」において、活動の内容によって継続研鑽(CPD)単位の重みづけが異なること

となり、新たに土づくりの普及、土づくりの業績、活動成果等継続研鑽(CPD)単位数の高い項目が設けられたことにも留意する。

- 2) 地域土壤医の会を中心に特に地域の若年層、農業者等に受験支援活動等を行い、土づくりの輪を広げる。

土壤医の会の活動を盛り上げ、仲間を増やし、土づくりの輪を広げていくことが重要である。このため、以下の点に重点を置いて活動を進めていく。

地域の農業者等への土づくりの普及拡大を図るため、地域の農業者等に呼びかけ、土壤医検定試験に向けた研修会を実施する。

土づくりの若年層への普及を図るため、地域の農業高校等と連携し、可能であれば在学生のみではなく、一般の受験者をも対象とした準会場の設置を推進する。

また、農業高校等の要請に応じて出前研修や補習授業に協力する。

なお、研修に用いるテキストについては、(一財)日本土壤協会の受験対策の研修会テキストを昨年度と同様、実費支給することとしている。

- 3) 事業体土壤医の会においては、可能な限りオープン参加の研修会の開催等情報交流の場を増やしていく。

資格登録者が居住している地域によっては、研鑽機会に恵まれないところも多い。このため、資格登録者の研鑽機会の拡大や人的情報交流の促進を図るため、事業体土壤医の会においてもオープン参加の研修会等を可能な限り開催する。

また、事業体土壤医の会において研鑽機会の拡大や情報ネットワークの構築等を図るため、地域土壤医の会の行事に参加するとともに、地域土壤医の会との合同による交流会等を可能な限り実施する。

- 4) 土づくり指導の強化を図るための支援を強化していく。

土づくり指導の成果をあげていくためには、適切な診断と処方箋の作成が重要であり、今後、こうした診断能力のレベルアップを図っていく必要がある。このため、より適切な診断と処方箋を作成していくために必要と考えられる支援ツール(生理障害診断のための写真と診断や改善のポイント等の冊子)の作成を検討し、作業を進める。

土づくりの成果等をPRし、土づくりの重要性や土壤医制度の認知度を高めることを通じて一層資格登録者の社会的評価の向上等に努める。このため、今後、「土壤医資格登録と継続研鑽要綱」でCPD単位の重みづけの高い土づくりの業績、活動成果等についての申請を促すとともに、CPD単位取得の多い方などを対象に表彰しPRする。

2. 研鑽部会の活動計画

活動方針に掲げている地域土壤医の会の組織化を一層推進するとともに、活動を促進する観点から資格登録者専用ウェブサイトの充実も含めて推進する。

このほか、全国交流大会の開催や(一財)日本土壤協会との共催による研修会等を実施する。

(1) 全国交流大会の開催

全国の地域土壤医の会等の活動成果の発表や土づくりの成果等に関する発表を行うとともに、情報交流を深める目的で開催する。

全国交流大会の開催は、11月に東京で1日の日程で行う。

(参考)

「全国交流大会の開催内容」(案)

1) 日程、場所

11月2日(金)(予定) 東京 日比谷図書文化館(大ホール)

2) スケジュール

<午前> 幹事会の開催

<午後>

1) 表彰(CPD 評価点数の特に高い資格登録者等当面、個人を対象)

2) 講演

土壤病害、センチュウ害診断・対策の最近の動向(仮)

表彰者の土づくりの活動成果(2人程度)

3) 土壤医の会の活動成果発表(地域土壤医の会2事例程度)

<夕方> 情報交流会

(2) (一財)日本土壤協会等との共催による研修会などの開催

土づくり推進講演会やシンポジウム(土づくり推進フォーラム主催(事務局(一財)日本土壤協会))の開催とともに、土壤診断実践研修会(仮称)(旧資格登録者等研修会)について(一財)日本土壤協会との共催により実施する。

また、土壤診断実践研修会の実施場所については、地域土壤医の会等とも協議し、実施可能であれば地域土壤医の会等と共催で実施する。

3. 調査研究部会の活動計画

活動方針に掲げている土づくり指導を強化していくための支援を行っていく。このため、土づくりに関して地域において重要な課題をテーマとして最近の研究成果や現地での取り組み成果等を発表し、意見交換を行う地域重要問題研究会を行う。

このほか、土づくりの現地指導を行う上で重要なより適切な診断と処方箋作成を効果的に行うための支援ツールの作成を行う。

(1)地域重要問題研究会の開催

今年度は「野菜等園芸作物における土づくりに関する重要問題」(土壌病害、生理障害等)(候補)をテーマに行う。場所等については、現在、設立準備中の茨城土壤医の会(仮称)と連携して茨城県下で行う方向で検討中である。なお、日程としては1泊2日で行い、現地見学も含める予定である。

(2)効果的指導を支援するためのツールの作成

資格登録者がより適切な診断と処方箋を作成していくために必要と考えられる支援ツールは、当面、以下の内容のものについてとりまとめる。

生理障害診断のための症状の特徴(症状写真、発生土壌環境等)と改善のポイントをまとめた冊子

土壌中有効態リン酸含量と主な作物別生育の調査事例(リン酸については特に作物別に生育反応が異なることから診断の参考)の冊子

このため、資格登録者から事例の提供等をいただきつつ作業を進める。

これらの支援ツールの作成は、単年度事業ではなく内容により概ね2~3年計画でまとめるようにしていく。

4.土づくり普及部会の活動計画

活動方針に掲げている土づくりの普及のため、地域土壤医の会を中心に地域の若年層、農業者等に受験支援を行うことに対する支援活動を行う。

また、今後、土づくり普及の観点から重要視される職域分野との連携の在り方について調査する。資格登録者の活用促進については、当面、農業高校等の出前研修等について対応可能な方の公募を検討する。

(1)土づくり普及のための支援活動

資格登録者や土壤医の会に対して直接、昨年度同様にメールで土壤医検定試験のPRパンフレットの配布依頼や準会場設置の可能性の情報提供等呼びかける。

準会場設置が進んでいない手薄な地域を中心に推進を図る。

農業高校等において出前研修や補習の必要性の意向を把握するとともに、これに対応できる土壤医や土づくりマスターの方を協会ウェブサイトで募集する。

(2)土づくりの普及に関する調査

今後、土づくりの普及が重要視される職域分野を対象に今後の連携の在り方等対応

方向を検討し、可能なものから実施する。

市民農園等との連携の在り方

(首都圏土壌医の会、柏土壌医の会との連携)

農業者、農業法人との連携の在り方